

千葉市雨水対策重点地区整備基本方針

～今後の雨水対策のあり方～

千葉市建設局下水道建設部

(1) 現在の整備水準

《平成16年度（方針決定）》

- ・ 市全域の整備水準の引き上げ（5年確率 ⇒ 10年確率）

50 mm/h r ⇒ 53.4 mm/h r

※雨量検証降雨データ：昭和36年（1961年）～平成3年（1991年）

(2) 近年の浸水被害

局地的大雨や**大型台風**により低地部等で浸水被害発生

【主な浸水被害】

- ・ 平成22年 9月 8日 (台風9号)

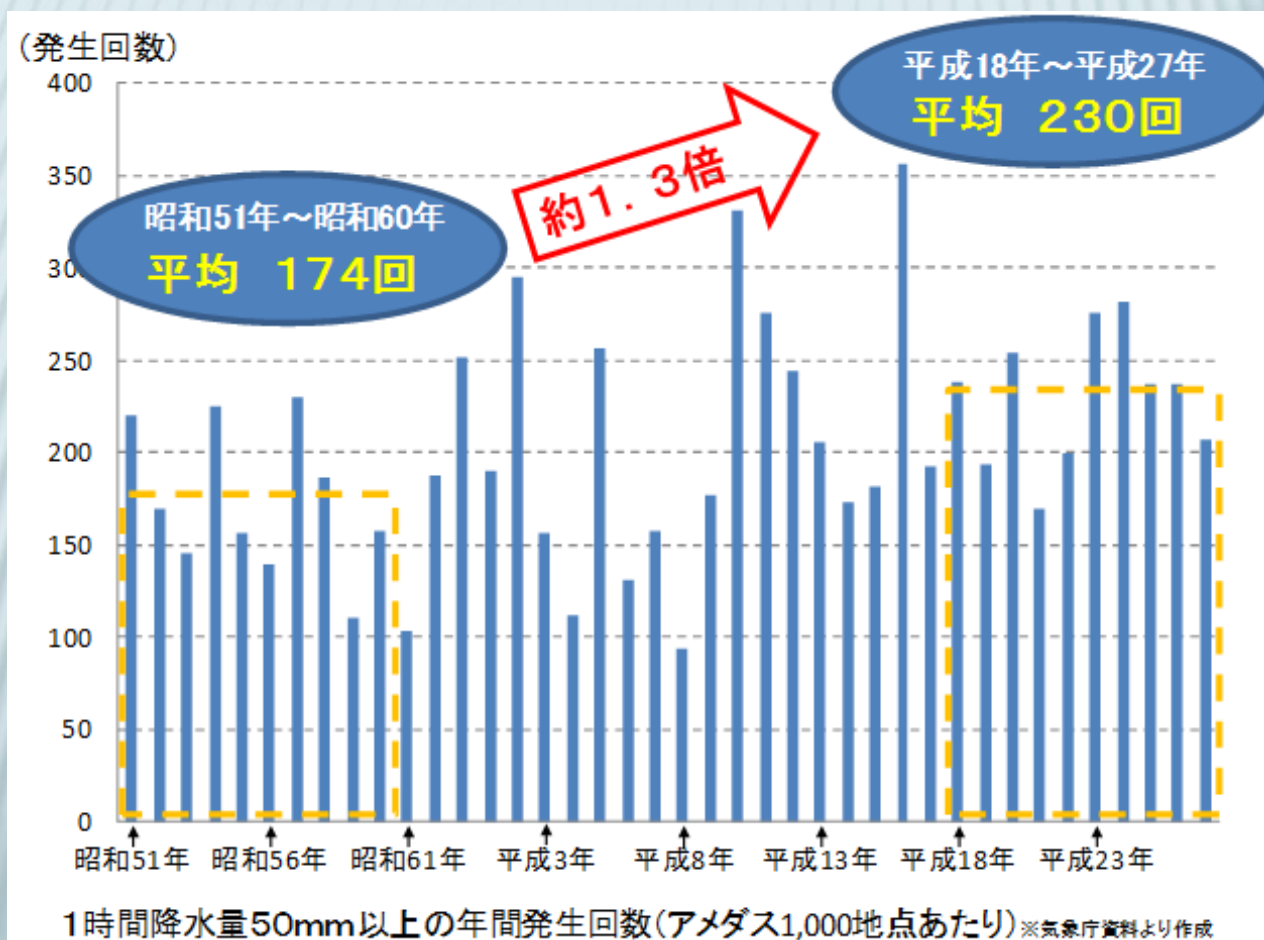
→ピーク雨量：83mm/hr【1時間雨量観測史上最大】、床上・床下浸水265軒

- ・ 平成25年10月16日 (台風26号)

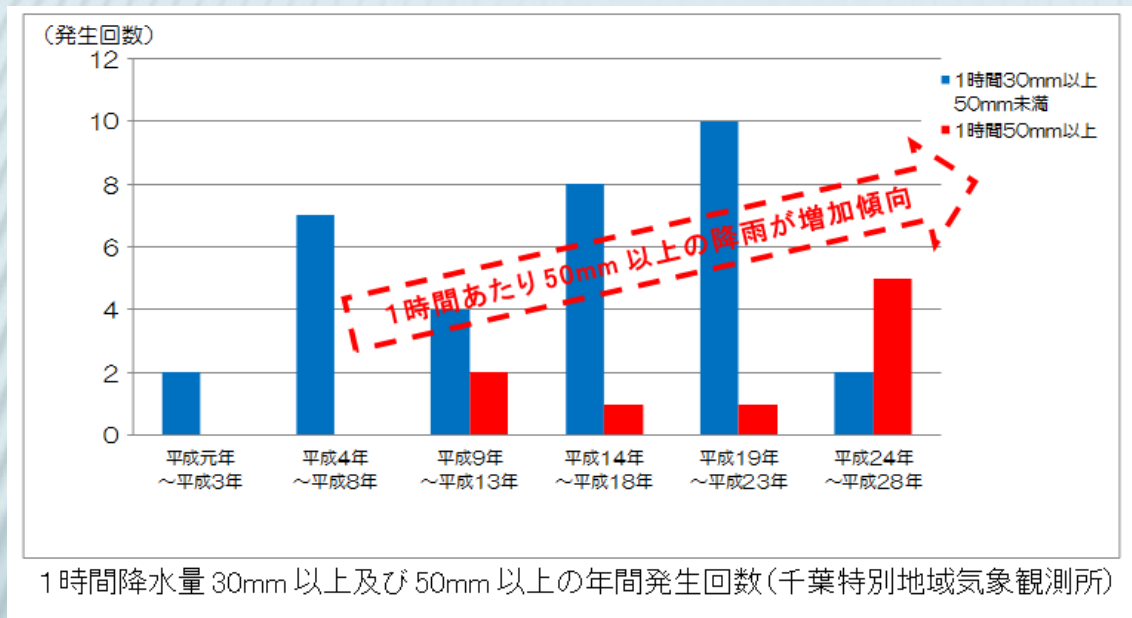
→24時間雨量：309mm/24h【24時間雨量観測史上最大】、床上・床下浸水288軒

(3) 近年の降雨状況

《全国》



(4) 降雨特性の検証と対策レベルの検討



1時間あたり50mm以上の
降雨発生回数が増加

直近20年間のデータから算出した10年確率降雨

※雨量検証降雨データ：平成7年（1995年）～平成26年（2014年）

65.1mm/h

(5) 新たな整備方針の基本的な考え方

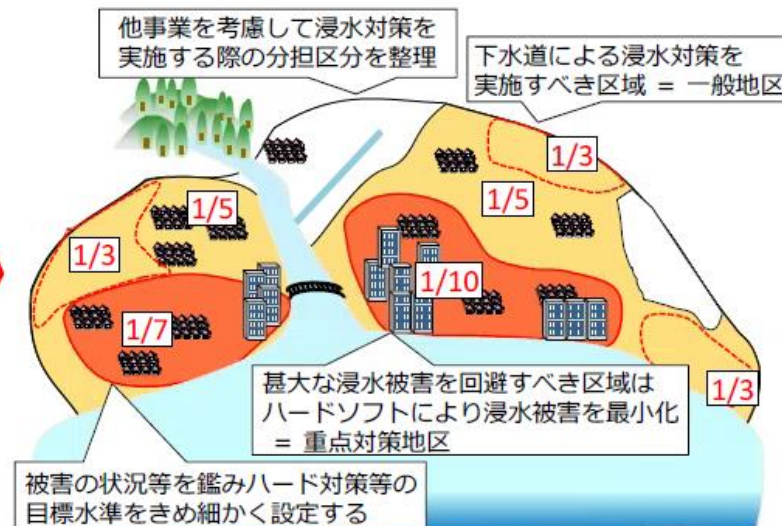
雨水管理総合計画策定ガイドライン (案)

平成28年4月 (国土交通省下水道部)

◆これまで

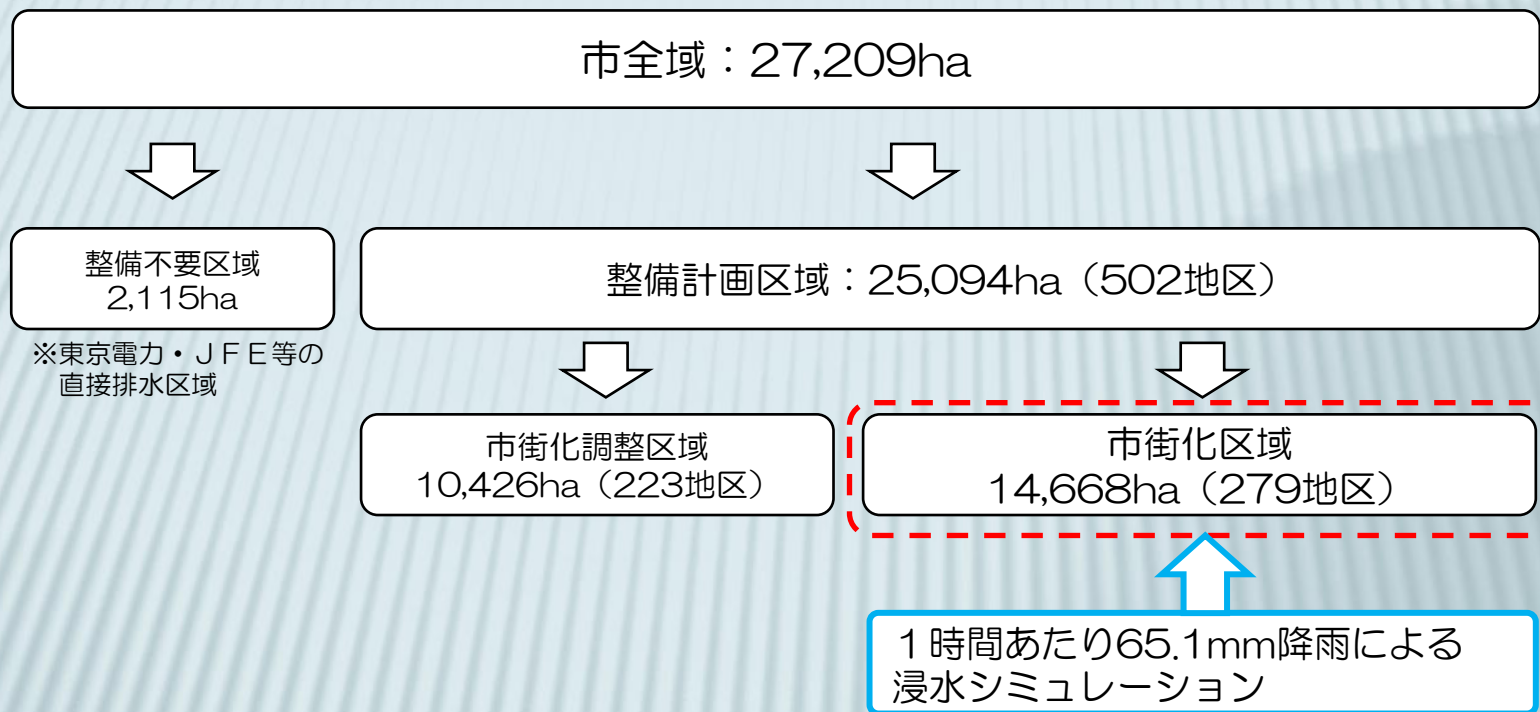


◆これから



浸水対策実施区域のイメージ

(6) 地区の選定



65.1mm/hr 降雨による浸水シミュレーションを実施し、
リスク評価により「**浸水リスク**」かつ「**都市機能集積度**」
が高い地区を選定

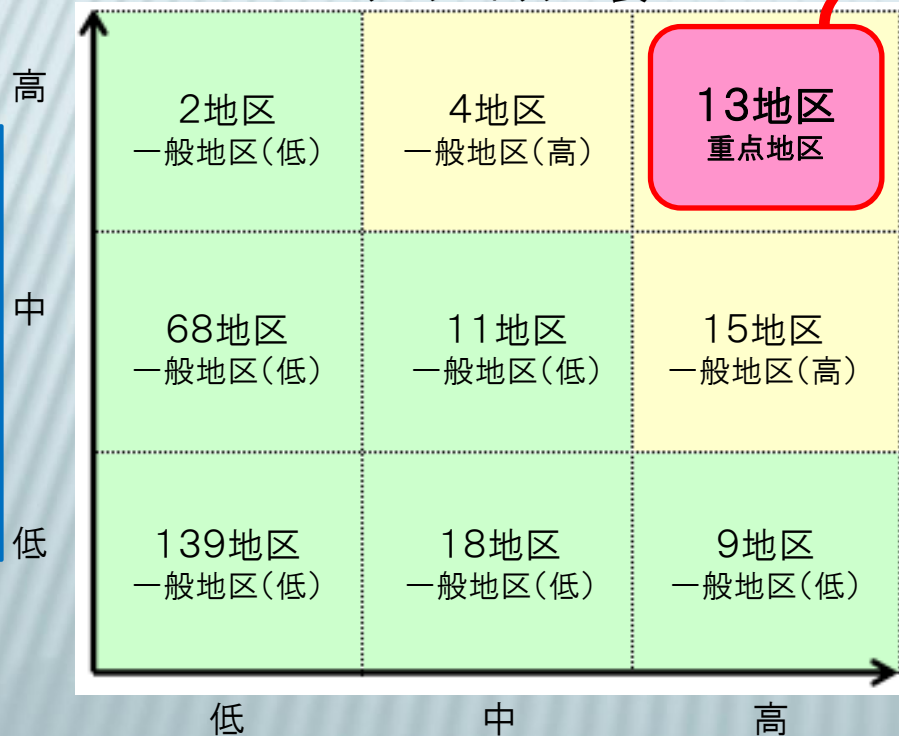
(7) リスク評価

リスク評価指標 （評価指標は、ガイドライン（案）に基づき設定）

浸水リスク………浸水実績、浸水想定深、地下施設の有無

都市機能集積度…浸水想定被害額、防災関連施設数、緊急輸送道路の有無、駅の有無

リスクマトリクス表



重点地区			
No.	流域名	地区名	対策候補地
①	都川	都第 1	都町3丁目
②		高品	高品町
③		本町	本町2丁目、旭町外
④		中央	要町
⑤		東寺山	みつわ台1～5丁目
⑥		原西・原東	西都賀2・3丁目
⑦		北部第 1	富士見（千葉駅）、弁天、松波
⑧		東千葉	東千葉 2・3 丁目
⑨	草野都市下水路	草野	稲毛 2・3 丁目（草野）
⑩	黒砂水路	黒砂	小仲台1～4丁目（稲毛駅）
⑪	南部2号都市下水路	宮崎	南町 2・3 丁目（蘇我駅）、宮崎町
⑫	東京湾直接排水	出洲	幸町2丁目
⑬		寒川	稲荷町1丁目

凡例

重点地区		
No.	流域名	地区名
①	都川	都庁1
②		都庁3丁目
③		高品
④		本町
⑤		中央
⑥		東山
⑦		東部2号
⑧	都野	都野2・3丁目
⑨	都野	都野2・3丁目
⑩	都野	都野2・3丁目
⑪	都野	都野2・3丁目
⑫	都野	都野2・3丁目
⑬	都野	都野2・3丁目

12流域界

市街化区域界

自己排水

※直接整備不敷区域

重点地区

一般地区(高)

一般地区(低)

排水区界

河川

鉄道

駅

(9) 対策施設のイメージ



(1 0) 計画期間

20年間（平成30年度～平成49年度）

《事業効果》

重点地区での対策実施により、浸水被害の軽減が見込めるとともに、ＪＲ千葉駅などのターミナル駅周辺や緊急輸送道路における、物資等の安定した輸送、施設利用者の安全の確保等の効果も期待できる。